

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立忌部小学校）

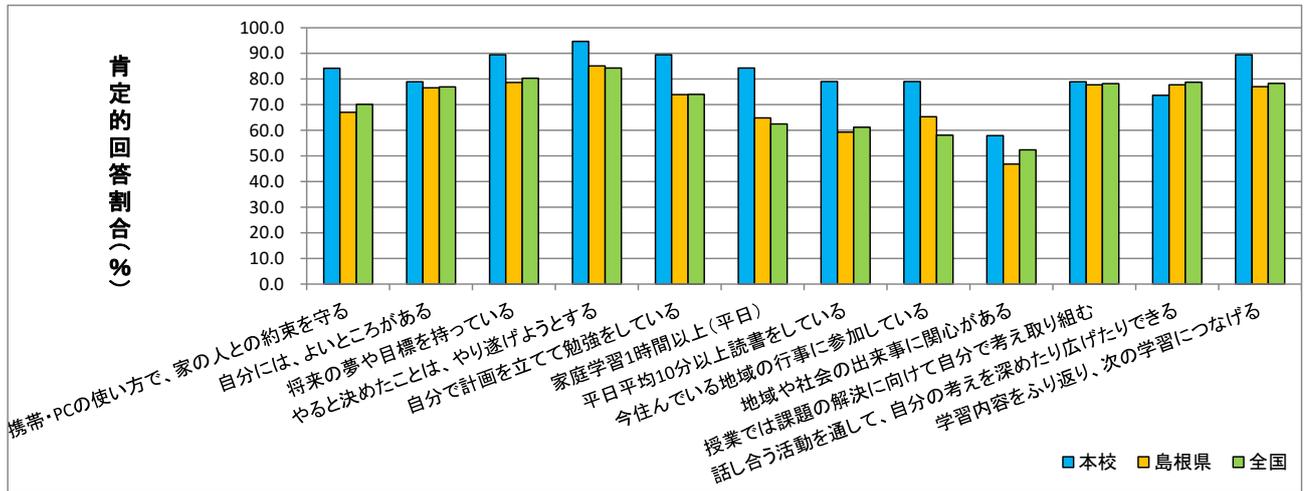
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
国語	○漢字、言葉の使い方については、概ね身に付いている。 ●文章を読んで要点を読み取り、要約することが苦手な児童が多い。 ●難しいと感じる問題、特に記述式の問題には、解答することを諦める児童が多い。	・説明文に触れる機会を増やし、読むことに慣れるようにし、大切なことを読み取る力を養う。 ・記述で解答する機会を増やし、難しい問題にも挑戦してみようとする態度を養う。
算数	○棒グラフや時刻の読み取りなど基本的な問題の正答率が高い。 ●記述式の問題の正解率が低い。文章や式にどのように表せばよいのか、説明の仕方に慣れていない。 ●図形領域の正答率が低い。図形を多面的に見たり公式の意味を正しくとらえたりすることに課題がある。	・普段から算数の用語を意識して考えたり説明させたりする。また再現活動をしてよい説明の仕方に慣れさせる。 ・低中学年から視覚的教材・具体物を活用し問題をイメージ化できるような丁寧な指導をする。 ・構造的なノートが取れるよう指導していく。

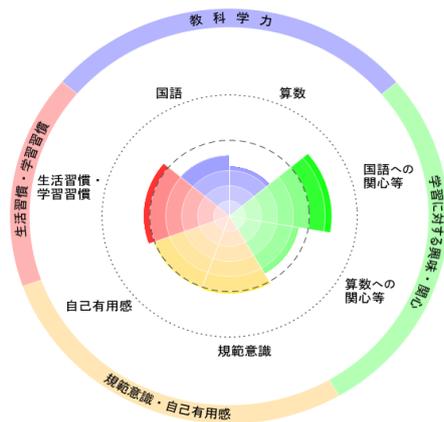
(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
	○日頃の指導からいじめは悪いことはわかっている。 ○地域がら低学年からの地域交流の成果から地域行事の参加は高い。 ●算数に対してやらされているという思いから、意欲が低い。 ●気持ちを伝えることが弱い。	・算数については生活に役立つことを実感できるような算数との出合わせ方を考えていく。意欲を上位層にも持たせるような発展的な問題と通常の授業を組み合わせた問題をタブレットを活用して取り入れていく。 ・学年が上がるにつれて気持ちを伝える場を増やし、教師が評価言を伝え自信を持たせる。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

○地域全体的に家庭力があるので、情報発信をして呼びかけていくことで、学校家庭両方で学力向上に繋げていく。

【受検者数】 19名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。